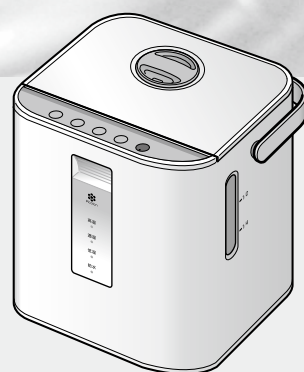
TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝加湿器 ヒーター加熱式（家庭用）

取扱説明書

形 名
KA-N35X

保証書付

保証書はこの取扱説明書の 20 ページに付いておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内専用
Use only in Japan

もくじ

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害・財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

表示の説明（取り扱いを誤った場合に生じる危害・損害の程度を示します）

警告「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。	**注意**「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

図記号の中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。	図記号の中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

警告

指　示

- **異常・故障時にはすぐに使用を中止する**
  （火災・感電・けがの原因）
  すぐに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターに点検・修理をご依頼ください。

  《異常・故障例》
  - 水漏れする
  - 本体が異常に熱かったり、こげくさかったりする
  - 異常な音や振動がする
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする

プラグを抜く

- **転倒した場合は、すぐに電源プラグを抜く**
  （火災・感電・けがの原因）
  本体が乾いてから使用してください。
- **お手入れをするときや、持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く**
  （感電・けがの原因）

指　示

- **電源プラグの刃や刃の取付面にホコリが付いた場合は、乾いた布で拭き取る**
  （絶縁不良による火災の原因）

ぬれ手禁止

- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
  （感電・けがの原因）

禁　止

- **子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所では使わない**
  （感電・けがの原因）
  特に乳幼児にはご注意ください。
- **不安定な場所に置かない**
  （転倒したときなどに、熱湯がこぼれてやけどの原因）

禁　止

- **電源プラグ・電源コードが傷んだり、熱くなったときや、コンセントの差し込みがゆるい場合は使わない**
  （火災・感電・けが・ショートの原因）
  電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- **電源プラグ・電源コードを傷付けない**
  （火災・感電・ショートの原因）
  - 加工しない
  - 熱器具に近づけない
  - 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
  - 無理に曲げたり、ねじったり、束ねて通電したりしない
- **コンセントや配線器具の定格を超えて使ったり、交流 100V 以外で使ったりしない**
  （火災・感電の原因）
- **マグネット式プラグにピンなどの金属片やゴミを付けない**
  （感電・ショート・発火の原因）

禁　止

- **お手入れをするときは、塩素系・酸性の洗浄剤は使わない**
  （洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

⚠警告

指　示

- **本体の水を捨てるときは、排水方向から捨てる**
（本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因）
14、15ページ「お手入れのしかた」を参照してください。
- **同じ場所で長期間使う場合は、ときどき製品下部や床を清掃する**
（水がこぼれたまま放置した場合、床の腐食の原因）
- **乳幼児などが、誤ってマグネット式プラグをなめないようにする**
（感電・けがの原因）

水ぬれ
禁止

- **水につけたり、水をかけたりしない**
（ショート・火災・感電の原因）

禁　止

- **使用中や運転停止後約60分間は、持ち運んだり、お手入れしたりしない**
（熱湯や本体高温部によるやけどの原因）
- **吹出口・吸気口やすき間にピン・針金などの異物を入れない**
（感電・異常動作してけがの原因）
- **ノズルにさわったり、手や顔などを近づけたりしない**
※ 蒸気吹出し温度は約65℃です。
※ 香りをかぐために、ノズルに顔を近づけないでください。
（やけどの原因）
- **食品・医薬品・美術品・学術資料などの保存、業務用などの特殊用途には使わない**
（保存品の品質低下の原因）
- **医療用途には使わない**
本製品は医療器具ではありません。
（使用方法によっては健康を害する原因）

分解禁止

- **分解・修理・改造をしない**
（内部の高電圧部分による火災・感電・けがの原因）
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

⚠注意

指　示

- **電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って引き抜く**
（電源コードを引っ張ると破損し、火災・感電の原因）

プラグを
抜く

- **使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
（絶縁劣化による火災・感電の原因）

禁　止

- **スチームが家具や壁などに直接当たるところに置かない**
（シミが付いたり、変形する原因）
- **暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない**
（転倒したときなどに感電・ショートの原因）
- **熱に弱いテーブルなどの上で使わない**
（本体底部の熱による変色・変形の原因）

指　示

- **移動するときは運転を止め、タンク・本体内部の水を捨ててから、ハンドルを持って運ぶ**
（水がこぼれて床をぬらす原因）
傾けたり、ゆすったりしないでください。
- **タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換え、本体内部は定期的にお手入れする**
（お手入れをしないで使い続けると、カビや雑菌が発生し、悪臭の原因）
体質によっては、健康に影響があることがあります。異常を感じた場合は、医師に相談してください。

禁　止

- **本体・タンクを落としたり、強い衝撃を加えたりしない**
（本体・タンクが破損し、水漏れ・感電・ショート・発火の原因）
- **本体内部に直接水を入れない**
（感電・ショートの原因）
- **ノズル・吸気口をふさがない**
（変形・故障の原因）
- **ノズル・送風ガイドをはずしたまま使わない**
（感電・やけど・故障の原因）
- **アロマポットを乳幼児の手の届くところに置かない**
（誤飲の原因）

お願い

この商品専用のコードセットを使う
コードセットをほかの商品で使わない
故障の原因になります。

湿度の高い場所(85%以上)では使わない
・加湿のしすぎは室内の結露やカビが生える原因になります。
・故障の原因になります。

凍結のおそれがあるときは、タンクと本体の水を捨てる
凍結すると故障の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気が出る機器の近くに置かない
正常に動作しないことがあります。

テレビやラジオなどから1m以上離して使う
映像の乱れや雑音の原因になります。

温度・湿度を正しく検知するために、以下の場所で使用しない
・直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たる場所
・窓際など外気の影響を受けやすい場所
・室内の温度が5～35℃でない場所

ハンドル・タンクハンドルで指をはさまない
ハンドル・タンクハンドルを下げるときに、本体・タンクとの間に指をはさまないように注意してください。

直射日光の当たる場所や暖房機の近くに置かない
・タンク内の空気が膨張し、お湯があふれることがあります。
・プラスチック部分が変形、変質することがあります。

定期的にお手入れする
加熱槽に水あかなどが付いたまま使い続けると、安全装置がはたらいたり、故障の原因になったりします。

水道水(飲用)以外は使わない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・アロマオイル・よごれた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れると、変形や故障の原因になります。(アロマオイルは、アロマポットに入れてお使いください 13ページ)

部屋の低い場所に置く
室内の温度差を少なくするためです。

室内の湿度ムラをなくす
床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。
サーキュレーター・エアコンなどを使って、室内の空気を循環させてください。

ハンドル・タンクハンドルを持って本体・タンクを振り回さない
破損、水漏れなどの原因になります。

特長

きれいな空気と水で加湿

●エアフィルター(プラチナフィルター)
プラチナ抗菌※1加工を施し、エアフィルターに付着した菌の繁殖を抑制します。

※1 試験機関 ……………………(財)日本紡績検査協会
試験方法 ……………………… JIS L 1902に準拠
抗菌の方法 …………………エアフィルターに抗菌加工
抗菌を行っている対象部分の名称 ……エアフィルター
試験結果 …………………… 99.9%の抗菌効果を確認
(試験番号 ……………… 003856-1、003856-2)

●タンク(抗菌タンク)
抗菌※2加工を施し、タンク内の菌の繁殖を抑制します。

※2 試験機関 ………………(財)新潟県環境衛生研究所
試験方法 ……………………… JIS Z 2801に準拠
抗菌の方法 …………………………タンクに抗菌加工
抗菌を行っている対象部分の名称 ………………タンク
試験結果 …………………… 99.9%の抗菌効果を確認
(試験番号 ……… 第200903679-001-MBA号)

●タンクキャップ(抗菌タンクキャップ)
抗菌※3加工を施し、タンクキャップの菌の繁殖を抑制します。

※3 試験機関 ………………(財)新潟県環境衛生研究所
試験方法 ……………………… JIS Z 2801に準拠
抗菌の方法 …………………タンクキャップに抗菌加工
抗菌を行っている対象部分の名称 ……タンクキャップ
試験結果 …………………… 99.9%の抗菌効果を確認
(試験番号 ……… 第200903679-001-MBA号)

おまかせ自動加湿コントロール

湿度と温度のWセンサーで、室温に合わせた快適湿度を自動コントロールします。

ピコイオン運転について

ピコイオンユニットの電極ピンに高電圧をかけることによって、電極ピン先端に集まった水を微細化させ、空気中に放出し、除菌※4・アレル物質（花粉※5・ダニ※6）を抑制します。

	試験機関	試験方法	除菌・抗花粉・ダニの方法	除菌・抗花粉・ダニを行っている対象部分の名称	試験結果（試験番号）
※4	京都薬科大学 薬剤学教室	標準寒天培地表面塗抹法	水を微細化させ空気中に放出	ピコイオンユニット	99.9％の除菌効果を確認（第80815号）
※5	信州大学 繊維学部	11L試験ボックス内でピコイオンユニットを作動させ、不織布に染み込ませたスギの花粉の作用を電気泳動法で測定			抑制効果を確認
※6	信州大学 繊維学部	1m³試験ボックス内でピコイオンユニットを作動させ、不織布に染み込ませたダニの死がいの作用をELISA法で測定			抑制効果を確認

各部のなまえとはたらき

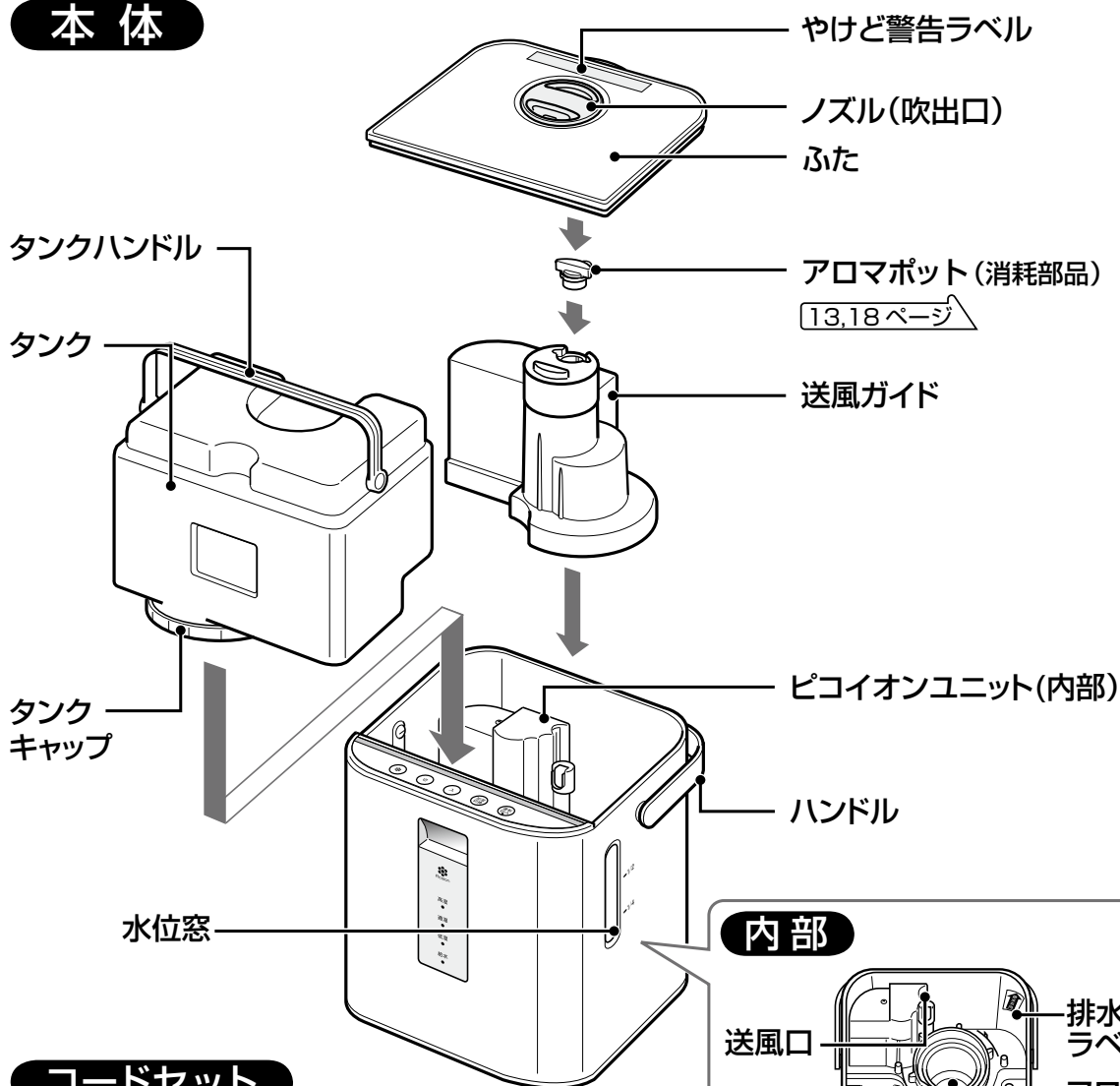
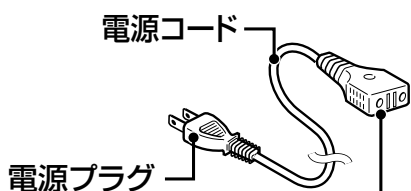
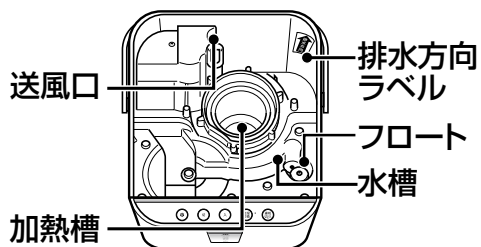
⚠注意

使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
（絶縁劣化による火災・感電の原因）

本体

やけど警告ラベル
ノズル（吹出口）
ふた
タンクハンドル
タンク
アロマポット（消耗部品）
13,18ページ
送風ガイド
ピコイオンユニット（内部）
タンクキャップ
ハンドル
水位窓

内部

送風口
排水方向ラベル
フロート
水槽
加熱槽

コードセット

電源コード
電源プラグ
マグネット式プラグ
磁力で本体と接続します。

お願い

- アロマオイル（エッセンシャルオイル）は付属していませんので市販品をお使いください。

正 面・右側面

ピコイオンランプ
ピコイオン運転中、点灯します。 9,12 ページ

湿度サイン(目安)
部屋の湿度の目安をお知らせします。 8 ページ

給水ランプ
タンクの水がなくなると点灯します。 10 ページ

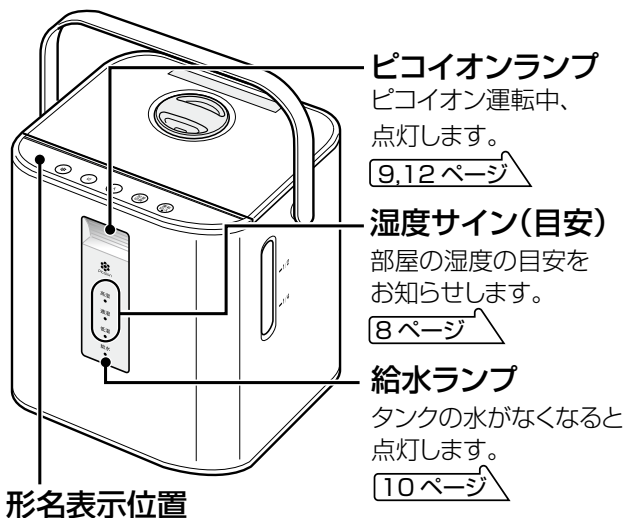
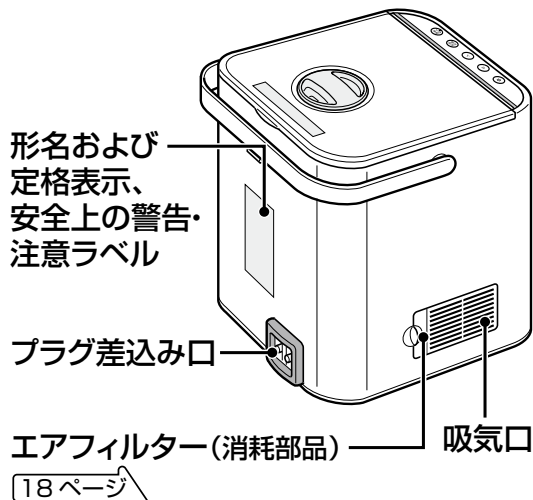
形名表示位置

裏 面・左側面

形名および定格表示、安全上の警告・注意ラベル

プラグ差込み口

エアフィルター(消耗部品) 18 ページ

吸気口

操作パネル

チャイルドロックランプ
チャイルドロック設定中、点灯します。 12 ページ

切タイマーランプ
設定した時間（1 時間､2 時間､4 時間）が点灯します。 11 ページ
また､クエン酸洗浄終了時に点滅します。 15 ページ

入タイマーランプ
設定した時間（2 時間、4 時間、8 時間）が点灯します。 11 ページ

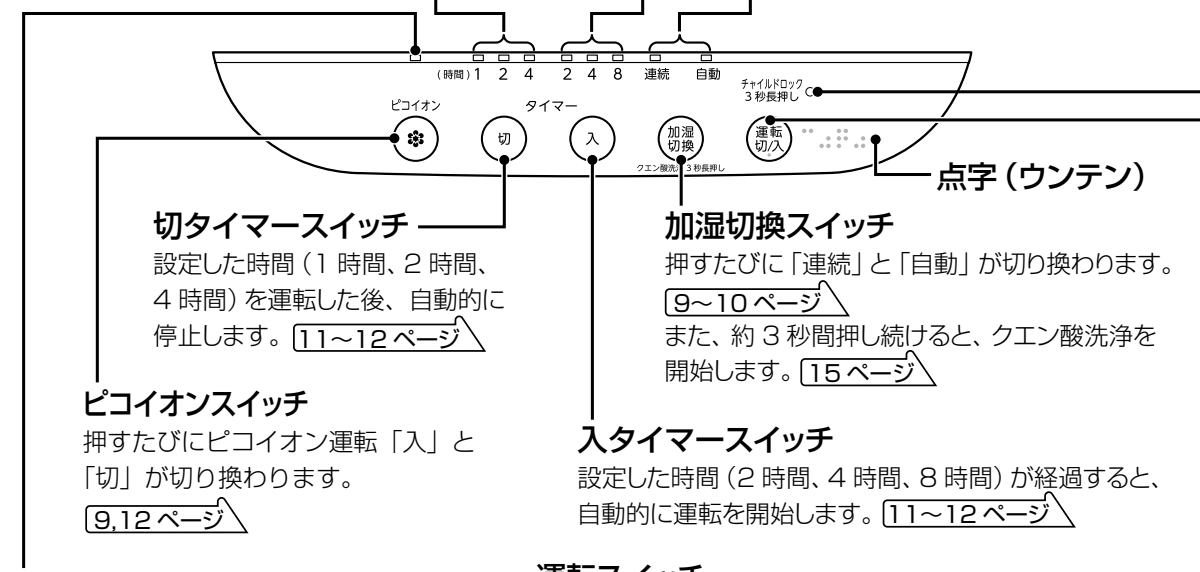
加湿モードランプ
選択した加湿モード「連続」「自動」が点灯します。 9 ページ
また、転倒したときや、クエン酸洗浄中は点滅します。 8,15 ページ

点字（ウンテン）

切タイマースイッチ
設定した時間（1 時間、2 時間、4 時間）を運転した後、自動的に停止します。 11～12 ページ

加湿切換スイッチ
押すたびに「連続」と「自動」が切り換わります。 9～10 ページ
また、約 3 秒間押し続けると、クエン酸洗浄を開始します。 15 ページ

ピコイオンスイッチ
押すたびにピコイオン運転「入」と「切」が切り換わります。 9,12 ページ

入タイマースイッチ
設定した時間（2 時間、4 時間、8 時間）が経過すると、自動的に運転を開始します。 11～12 ページ

ピコイオン設定ランプ
ピコイオン運転中、点灯します。 9,12 ページ

運転スイッチ
押すと加湿運転「入」、再度押すと「切」になります。
また、約 3 秒間押し続けると、チャイルドロックが設定されます。
再度約 3 秒間押し続けると、チャイルドロックが解除されます。 9,12 ページ

使いかた

本体の準備

●アロマスチームを使うときは、運転する前にセットしてください。13ページ
●タンクに水を入れてください。

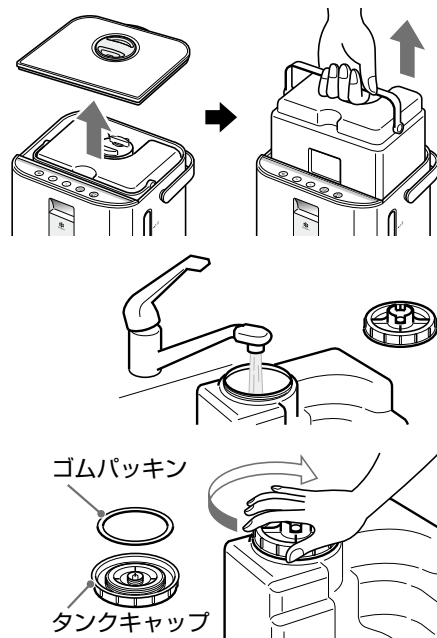
1 ふたをはずし、タンクハンドルを持ってタンクを取り出す

2 タンクを逆さまにして、タンクキャップをはずし、口元まで水道水を入れる

3 ゴムパッキンがタンクキャップの内側の溝に付いていることを確認し、タンクキャップをしっかり閉める

●水漏れがないか確認してください。
●タンクに付いた水は布で拭き取ってください。

4 タンクを本体にセットし、ふたを取り付ける

▶タンク満水で約 11 時間 20 分運転できます。
（「連続」運転、室温 20℃の場合）

お願い

- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・アロマオイル・よごれた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れないでください。
- 本体内部には直接水を入れないでください。
- 室温の低い部屋から高い部屋に加湿器を移動させたときや、温度の低い水を利用したときにタンクの表面が結露する場合があります。このような場合は拭き取ってください。
- タンクを落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。タンクの破損、水漏れなどの原因になります。

湿度サイン（目安）の表示

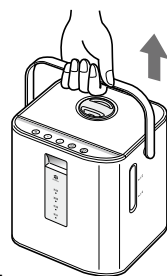
ランプの点灯でお部屋の湿度（目安）を表示します。

高湿 ●	湿度 約 70% 以上のとき
適湿 ●	湿度 約 40〜70% 未満のとき
低湿 ●	湿度 約 40% 未満のとき

●湿度サイン表示は目安です。
同じ室内でも場所によって湿度が異なるため、部屋の湿度計と差が出ることがあります。
●運転中以外は表示されません。
●運転開始から約 30 分間は、湿度サインの表示が部屋の湿度と異なる場合がありますが、徐々に室内湿度に近づきます。

持ち運ぶときは

タンクと本体内部の水を捨ててから、ハンドルを持って、傾けないようにゆっくりと運んでください。

（本体内部の水の捨てかた 14ページ）

●水を抜かずに持ち運ぶと、傾いたときに水がこぼれることがあります。

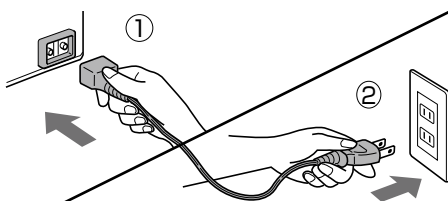
お願い

- **水平な安定した場所に置いて使用してください。本体が転倒すると「ピー、ピー、ピー…」というブザーが鳴り、加湿モードランプが点滅（毎秒５回）して運転が止まります。電源プラグを抜いてから本体を起こしてください。こぼれた水を拭き、本体が乾いてから使用してください。**

加湿運転のしかた

1 コードセットを接続する

① マグネット式プラグを本体背面のプラグ差込み口に斜めにならないように確実に接続してください。

② コンセント（交流 100V）に電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

2 運転切/入 を押す

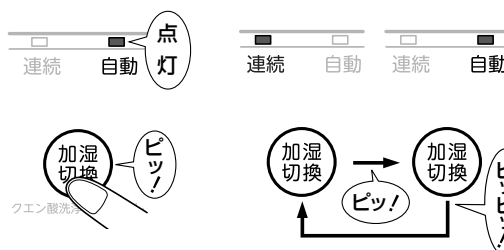
▶加湿モードランプの「連続」（緑色）、ピコイオンランプ（青色）、ピコイオン設定ランプ（緑色）が点灯し、吹出口から弱い風が出ると同時にピコイオン運転も開始します。

スチームが出るまで約 5 分かかります

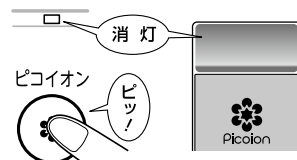
- ●使いはじめや本体内部のお手入れをした後は、すぐに運転しません。運転スイッチを押したとき、給水ランプ（赤色）が点灯する場合があります。しばらくすると、給水ランプ（赤色）が消灯し、加湿モードランプ（緑色）が点灯して、運転が始まります。
- ●部屋の温度や湿度によっては、スチームが見えにくい場合があります。

加湿モードを「自動」にするときは

加湿切換 を押す

▶加湿モードランプの「自動」（緑色）が点灯し、加湿が始まります。

ピコイオン運転を止めるときは

❀ を押す

▶ピコイオンランプ（青色）、ピコイオン設定ランプ（緑色）が消灯し、ピコイオン運転が停止します。

お知らせ

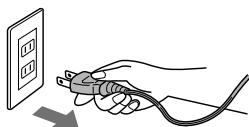
使いはじめは、多少のにおいが出ることがありますが、使用とともに出なくなります。

3 運転を止めるときは

運転切/入 を押し「切」にする

▶設定した加湿モードランプが消灯し、ピコイオン運転している場合は、ピコイオンランプ（青色）、ピコイオン設定ランプ（緑色）が消灯します。

▶約 10 秒間送風後、停止します。

4 電源プラグを抜く

お願い

- ●運転停止後、30 秒以上たってから電源プラグを抜いてください。

（つづく）

タンクに水がなくなると

自動的に運転が止まり、給水ランプ（赤色）が点灯し、「ピー、ピー、…」とブザー音が５回鳴ります。

給水
点 灯

続けて使うとき

●タンクに水を入れて本体にセットしてください。
給水ランプ（赤色）が消灯し、加湿モードランプ（緑色）が点灯して、自動的に再運転します。

お願い

●本体の加熱槽と水槽の中に熱湯が少し残っているため、倒したり、傾けたりしないでください。
●タンク底面に結露した水滴が付いた場合は、布で拭き取ってください。

加湿切換について

●加湿モード「自動」とは

湿度と温度のＷセンサーのはたらきで、室温の変化に応じて自動的にヒーターを制御し、下表のように湿度コントロールします。ヒーターが止まっても、**ファンモーターによる送風は停止しません。**

室 温	約 18℃未満	約 18 ～ 23℃未満	約 23℃以上
湿 度	約 60%	約 55%	約 50%

●加湿モード「自動」では、運転開始から 15 分間は、部屋の湿度に関係なく加湿をします。その後、設定された湿度にコントロールします。なお、加湿モードを「連続」から「自動」に切り換えた場合は、運転開始から 15 分未満であっても、すぐに湿度コントロールを行います。
●加湿モード「自動」では、設定された湿度にコントロールするため、スチームが出ないことがあります。

●加湿モード「連続」とは

部屋の湿度に関係なく連続して加湿します。

お知らせ

● 給水ランプが点灯しているときは、運転スイッチ以外の操作はできません。タンクに水を入れてから操作してください。
● 運転スイッチで「切」にした後、電源プラグ・マグネット式プラグを抜かずに運転スイッチを押すと、メモリー機能によって、「切」にする前の加湿モードになります。（ただし、切タイマーは記憶されません）
● 運転中に停電した場合や、電源プラグ･マグネット式プラグを差し直したときに運転スイッチを押すと､「連続」運転になります。
● 本製品は適用床面積（木造和室～６畳［～ 10m²］プレハブ洋室～ 10 畳［～ 16m²］）を湿度 60%に維持する製品です。[日本電機工業会規格（JEM1426）必要加湿量の目安による]
● 適用床面積以内でも部屋の壁、床の材質、換気の度合い、外気の乾燥の程度によっては、設定した加湿モードの湿度に維持できない場合がありますが、異常ではありません。
● 同じ室内でも場所によって湿度が異なるため、部屋の湿度計と本製品の湿度サインの表示に差が出ることがあります。

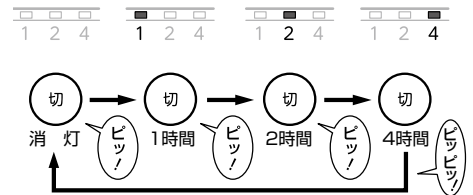
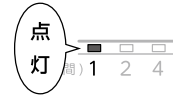
切タイマー運転のしかた

切タイマー運転

設定した時間を運転した後、自動的に運転を停止します。

運転中に を押し、切タイマー時間を設定する

(1 時間、2 時間、4 時間の設定ができます)

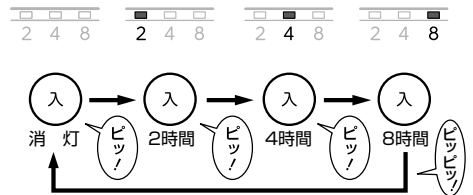
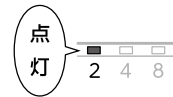
▶押すたびに切タイマーランプ(緑色)が右図の順序で点灯します。
▶時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間の目安を表示します。
● 切タイマーランプを消灯させるか、運転を止めると、切タイマーは解除されます。
● 切タイマー設定後、入タイマーを設定できます。

入タイマー運転

設定した時間が経過すると、自動的に「自動」運転を開始します。

運転停止中か、切タイマー設定中に

を押し、入タイマー時間を設定する

(2 時間、4 時間、8 時間の設定ができます)

▶押すたびに入タイマーランプ(オレンジ色)が右図の順序で点灯します。(電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください)
▶時間の経過とともに入タイマーランプが切り換わり、運転開始までの時間の目安を表示します。
● 入タイマーランプを消灯させるか、運転スイッチを押すと、入タイマーは解除されます。

4時間オートパワーオフ機能

入タイマーで運転を開始後、4 時間経過すると、自動的に運転を停止します。
● 入タイマーで運転開始すると、切タイマーランプの 4 時間が点灯し、時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間の目安を表示します。
● 4 時間オートパワーオフ機能を解除したいときは、切タイマースイッチを押して切タイマーランプを消灯させてください。(加湿切換スイッチ、運転スイッチを押しても解除されます)

お願い

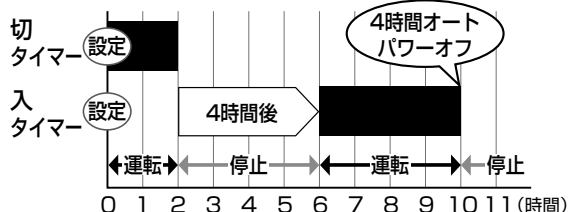
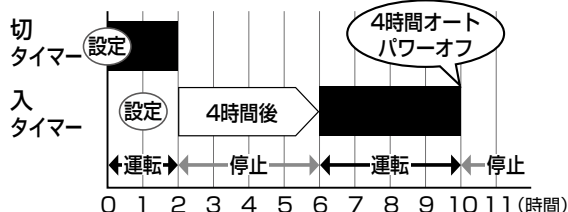
● 切 / 入タイマー時間を変えたいときは、切 / 入タイマースイッチを押してお好みの時間に設定してください。新しく設定した時間からタイマーが作動します。
● 給水ランプが点灯しているときは、タイマーを設定できません。タンクに水を入れてから設定してください。
● 切タイマー運転をする前に、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、運転が止まり、給水ランプが点灯します。(ブザーは鳴りません)この場合、運転停止中でもタイマーは作動しています。タンクに水を入れて本体にセットすると、加湿運転を再開し、切タイマー設定時間が経過すると自動的に運転が止まります。

(つづく)

使いかた（つづき）

切／入タイマー連動運転について

運転中、切タイマーを設定後、入タイマーを設定できます。

例：切タイマーを2時間設定し、同時に入タイマーを4時間に設定した場合

例：切タイマーを2時間設定した1時間後に、入タイマーを4時間に設定した場合

お知らせ

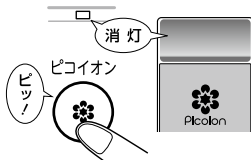
- 切タイマー設定後、時間がたってから入タイマーを設定した場合でも、切タイマーで運転が停止した時間から、設定した入タイマー時間のカウントが始まります。
- 切タイマーを解除すると、入タイマーも解除されます。
- 切タイマーで運転が停止した後でも、入タイマーを設定できます。
- 運転停止中に入タイマーを設定した後は、切タイマーは設定できません。

ピコイオン運転について

加湿運転中、ピコイオン運転を停止するとき

を押す

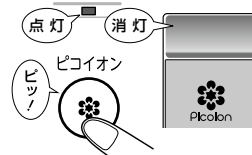
消 灯
ピコイオン
ピッ！

▶ピコイオンランプ（青色）とピコイオン設定ランプ（緑色）が消灯し、ピコイオン運転が停止します。
- 再び運転したいときは、もう一度ピコイオンスイッチを押してください。

おやすみ時などに、ピコイオンランプだけ消灯し、ピコイオン運転を続けるとき

を３秒以上押す

点 灯
消 灯
ピコイオン
ピッ！

▶ピコイオンランプが消灯します。
- 再び点灯させたいときは、

もう一度ピコイオン運転スイッチを３秒以上押してください。

- 運転スイッチで「切」にした後、電源プラグ・マグネット式プラグを抜かずに運転スイッチを押すと、メモリー機能によって、ピコイオン運転は「切」にする前の状態になります。

チャイルドロックの使いかた

お子様のいたずらや誤操作を防ぎます。

運転中に を約3秒間押し続ける

▶チャイルドロックランプ（オレンジ色）が点灯し、運転停止以外の操作ができません。
（安全のため、運転スイッチを押すと運転が停止します）

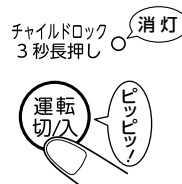
- 設定後に運転スイッチ以外のスイッチを押すと「ピッピッピッピッ」とブザーが鳴り、チャイルドロックランプが点滅します。

運転停止中に 運転切/入 を約３秒間押し続ける

▶チャイルドロックランプが点灯し、すべての操作ができなくなります。

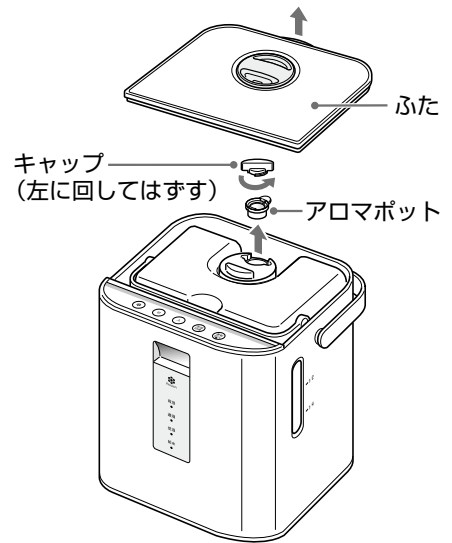
●解除するときは

再度 運転切/入 を約３秒間押し続ける

▶チャイルドロックランプが消灯します。
- 電源プラグを抜いたときやマグネット式プラグがはずれたときは、チャイルドロックは解除されます。

アロマスチームを使うときは

加湿しながら香り（アロマ）を楽しむことができます。

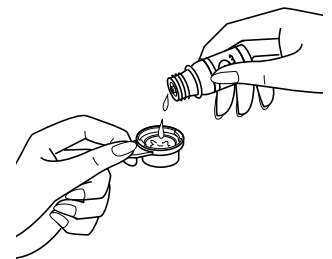
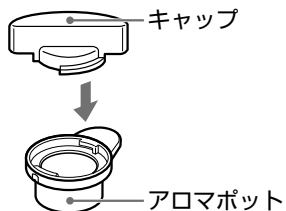
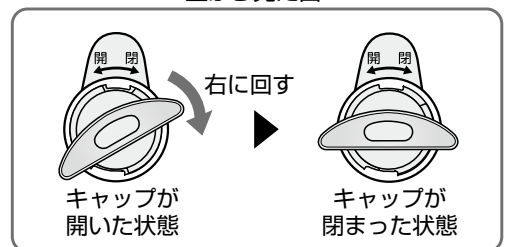
- アロマオイルは、必ず運転する前にセットしてください。やけどの原因になります。
- アロマオイル（エッセンシャルオイル）は付属していませんので市販品をお使いください。

  ※アロマオイル（エッセンシャルオイル）は低温（約50℃）で香るものをお選びください。
  レモングラス、グレープフルーツなどの揮発性の高いものをおすすめします。アロマオイルをお買い求めになるときにアロマオイルの販売店にご相談ください。

1 ふたをはずし、アロマポットを取り出す

2 アロマポットのキャップを回してはずす

3 アロマオイルを数滴入れる

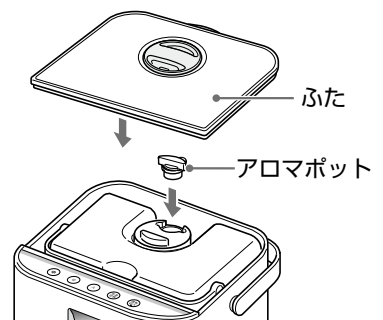
お願い

- アロマオイルがこぼれないように注意してください。
- アロマオイルが本体に付いたら、すぐに拭き取ってください。変色の原因になります。
- アロマオイルを加熱槽やタンクに入れないでください。
- 別売りのアロマポット（3個入）をお買い求めになると、違う香りのアロマオイルを楽しみたい場合にご利用いただけます。18ページ
- アロマオイルの取り扱いについては、オイルに付属の説明書に従ってください。

4 キャップを取り付けて、閉める

＜上から見た図＞

5 アロマポットをセットし、ふたを取り付ける

お願い

- 気分が悪くなったら、使用を中止してください。
- アロマポットは、使用後洗ってください。16ページ

お知らせ

- 加湿モード「自動」では、設定された湿度にコントロールするため、ヒーターが止まり、香りが少なくなることがあります。

お手入れのしかた

⚠警告

プラグを抜く

お手入れをするときや持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜く
（感電・けがの原因）

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
（感電・けがの原因）

禁止

使用中や運転停止後約60分間は、持ち運んだり、お手入れしたりしない
（熱湯や本体高温部によるやけどの原因）

禁止

お手入れをするときは、塩素系・酸性の洗浄剤は使わない
（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

●お手入れのしかたに従ってお手入れをし、いつも清潔にお使いください。

お手入れの手順

お願い

●お手入れをしないで使い続けると、本体内部に水あかが固まって取れなくなったり、故障の原因になったりします。定期的にお手入れしてください。

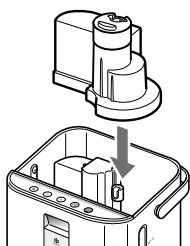
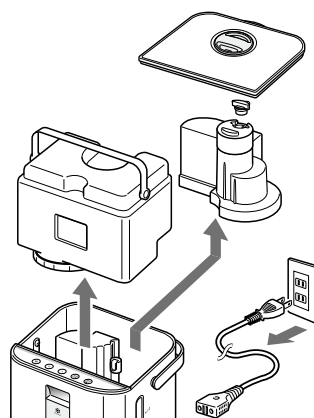
準備

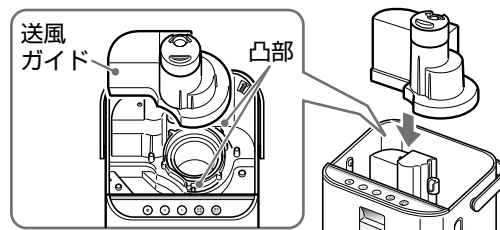
1. コードセットをはずす
2. 本体内の部品をはずす

各部のお手入れ

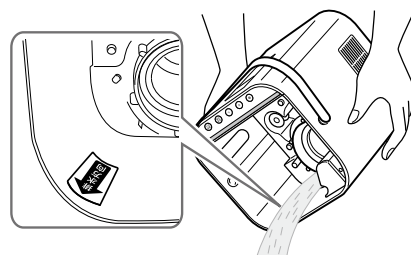
14、15、16 ページ参照

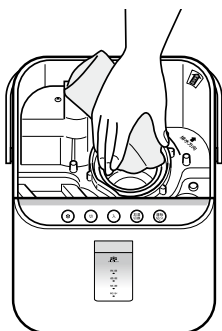
お手入れが終わったら

1. 部品を元通りに取り付ける

2. コードセットを接続する

送風ガイドと本体のセットのしかた

● 凸部（2 カ所）の内側にはめて入れる。
※奥まで確実にはめてください。

加熱槽・水槽（1 カ月に 1 回程度）

お手入れのしかた

1. 本体内部の水を、排水方向ラベルの矢印側に傾けて捨てる

2. 水に浸したやわらかい布で水あかを拭き取る

水あかが落ちない場合は、歯ブラシのブラシの部分を使って落としてください。（歯ブラシの柄の部分は使用しないでください）

お願い

- 排水方向から排水しないと内部に水が入り、故障の原因になります。
- プラグ差込み口に水がかからないようにしてください。故障の原因になります。
- 加熱槽には、金属へら、金属たわし、金属ブラシ、クレンザーなどを使わないでください。フッ素樹脂加工面に傷が付き、故障の原因になります。
- 本体内部のお手入れには洗剤を使わないでください。吹出口から泡が吹き出す原因になります。
- フロートにゴミが付くと正常に動作しないことがあります。確実に取り除いてください。
- 加熱槽の底穴の部分はゴムホースです。棒などでつつかないでください。

加熱槽の水あかが落ちにくいときは

1. 満水にしたタンクを本体にセットして、コードセットを接続する

2. 運転スイッチを押す

- 給水ランプが消灯していることを確認してください。

3. 運転スイッチをもう一度押して運転を止め、コードセットをはずす

4. ふた、タンク、アロマポット、送風ガイドをはずす

5. 加熱槽に付属のクエン酸約 10g（小さじ 2 杯）を入れ、部品を元通りに取り付ける

- クエン酸の濃度が高いと、故障の原因になります。10g 以上入れないでください。

6. コードセットを接続し、運転スイッチを押す

7. 加湿切換スイッチを約 3 秒間押し続ける

【洗浄中】

- 加湿モードランプが点滅（毎秒 1 回）し、クエン酸洗浄を開始します。
  （洗浄時間 約 90 分＋本体を冷ます時間約 60 分）
- クエン酸洗浄中は、運転停止とチャイルドロック以外の操作を受け付けません。
  運転スイッチ以外のスイッチを押すと「ピッピッピッピッ」とブザーが鳴り、受け付けません。

8. 約 150 分後、クエン酸洗浄が終了

- 加湿モードランプが消灯し、切タイマーランプが点滅します。
- 「ピロロ、ピロロ…」とブザーが 7 回鳴ります。
- クエン酸洗浄終了後は、全操作を受け付けません。

【洗浄終了】

9. コードセットをはずしてから、本体内の部品をはずし、排水方向から水を捨て、やわらかい布で水あかを拭き取る

10. 再度タンクを本体にセットし、加熱槽に水がたまってからタンクを取り出し、排水する

- これを 2 ～ 3 回繰り返してください。
- 排水後、加熱槽や、加熱槽底穴部のホース内部に水あかが残っていないか確認してください。水あかなどが残っている場合は、なくなるまで繰り返してください。

お願い

- クエン酸のにおいが発生するため、換気扇に近いところで換気をしながら行ってください。
- タンク内にもクエン酸の成分が残るため、必ずタンクの水を入れ換えてください。
- 付属のクエン酸がなくなった場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。（部品名：ポット洗浄クエン酸 / 部品コード：32389024）

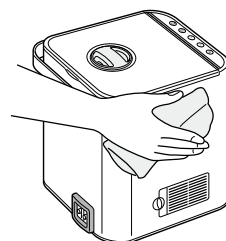
※ クエン酸は、幼児の手の届かないところに保管してください。

（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

本体・ノズル（よごれたら）

やわらかい布を水に浸してかたく絞り、よごれを拭き取った後、から拭きする

よごれがひどい場合は、中性洗剤溶液に布を浸してよく絞った後、よごれを拭き取ります。洗剤が残らないよう、水で絞った布で十分拭き取ってください。

お願い

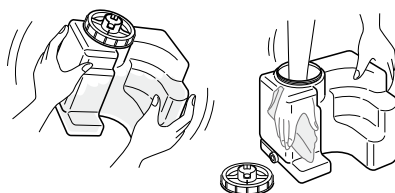
- 中性洗剤溶液は、洗剤容器の表示に従って水で薄めてください。
- 変質・変色防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ性洗剤・クレンザーなどは使わないでください。
- 化学ぞうきんを使う場合は、その注意書に従ってください。

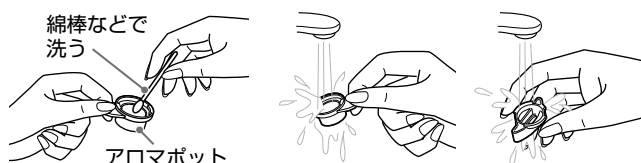
タンク内（給水のたび）

1. タンクに残っている水を捨てる

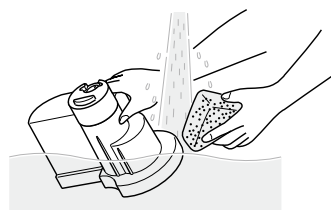
2. タンク内に少量の水を入れ、タンクキャップを閉めてよく振り洗いし排水する

※ 2 ～ 3 回繰り返す

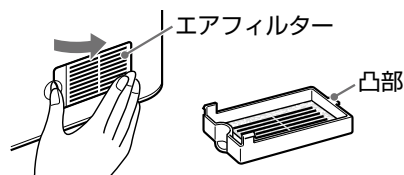
- よごれがひどい場合は、タンクの中をスポンジで洗ってください。

アロマポット（アロマスチームを使用した後に）

中性洗剤で洗い、水で洗い流す

- アロマポットは消耗部品です。オイルがこびり付いたら交換してください。18ページ
- オイルが手に付いた場合は、せっけんでよく洗ってください。

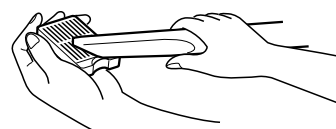
送風ガイド（1 週間に 1 回程度）

スポンジなどで水洗いし、水あかを取る

エアフィルター（1 カ月に 1 回程度）

よごれがひどくなるとスチームの出かたが弱くなります。

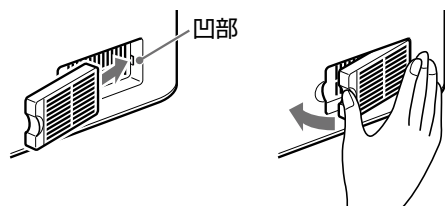
1. エアフィルターを取りはずす

2. エアフィルター表面のホコリを掃除機で吸い取る

掃除機の吸引力を弱くしてお使いください。

- 水洗いはしないでください。エアフィルターの効果が低下します。

3. エアフィルターを取り付ける

エアフィルターの凸部を本体の凹部に差し込む。

お願い

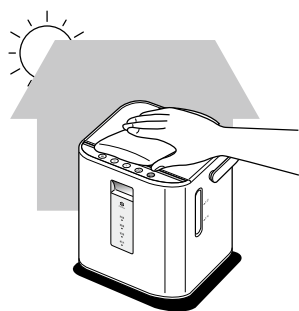
- エアフィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
運転しない	コードセットは接続してありますか。	正しく接続してください。	9
	チャイルドロックが設定されていませんか。	チャイルドロックを解除してください。	12
スチームが出ない	給水ランプ（赤色）が点灯していませんか。（タンクに水が入っていますか）	タンクに給水してください。	8
	運転スイッチを「入」にした直後ではありませんか。	スチームが出るまで約５分かかります。	9
	加湿モードを「連続」にし、約５～10分後にノズル（吹出口）上部約30～40cmに鏡を当ててみてください。	鏡がくもればスチームが出ています。 部屋の温度や湿度が高いとスチームが見えにくい場合があります。	－
スチームの出が悪い	エアフィルターにホコリがつまっていませんか。	エアフィルターの掃除をしてください。	16
	加湿モード「自動」ではありませんか。	設定された湿度にコントロールするため、スチームが出ないことがあります。	10
アロマが香らない	加湿モード「自動」ではありませんか。	設定された湿度にコントロールするため、ヒーターが止まり、香りが少なくなることがあります。	13
ボコボコなどの沸騰音がする	—	水が沸騰するときの音で、異常ではありません。	—
はじける音がする	アルカリイオン水を使用したり、芳香剤･アロマオイルなどの香料をタンクの水に混ぜていませんか。	水道水を使用してください。	4
運転スイッチを「切」にしたのにすぐ止まらない	—	運転スイッチを「切」にしても送風ファンは運転を続けます。 約10秒間送風後自動的に止まります。	9
加湿モードランプ「自動」が点灯しているのに加湿が弱い	—	部屋の湿度が設定された湿度以上になっているため、送風運転をしています。 さらに加湿したい場合は、加湿モードを「連続」にしてください。	10
運転停止以外、操作できない	チャイルドロックが設定されていませんか。	チャイルドロックを解除してください。	12
加湿切換ができない	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水が入っていますか）	タンクに給水し、給水ランプが消灯してから設定してください。	10 11
切タイマー運転ができない			
湿度が上がらない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	10
	窓、戸を開けていませんか。	窓、戸を閉めてお使いください。	－
水が漏れる	排水方向以外から排水していませんか。	排水方向から排水してください。	14
	タンク底面に結露した水滴が落ちたものではありませんか。	結露している部分を布で拭き取ってください。	10
ブーン音がする	—	送風ファンが回転しているときの音で異常ではありません。	—
湿度サインの表示が部屋の湿度計の表示と違う	—	同じ室内でも場所によって湿度が異なるため、表示に差が出ることがあります。 湿度サインは目安としてお使いください。	8
タンクの表面が結露する	—	コップに冷たい水を入れると表面が結露するのと同じ現象です。結露した場合は布などで拭き取ってください。	8

以上に従って調べていただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※樹脂部品は数年間ご使用いただきますと、傷むことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

保管のしかた

1 お手入れの後、本体の水を拭き取り、日かげで乾かす

2 包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ないところで保管する

仕 様

形名	KA-N35X
電源	交流 100V　50-60Hz 共用
消費電力	加湿モード「連続」時 310W
加湿量※1	約 350ml/h
タンク容量	約 4.0L
連続加湿時間（目安）※2	約 11 時間 20 分
適用床面積（目安）	木造和室　～ 6 畳（～ 10m²） プレハブ洋室 ～ 10 畳（～ 16m²）
外形寸法	幅 264mm ×奥行 257mm ×高さ 282mm（ハンドル含む）
質量	約 3.4kg（コードセット含む）
付属品	コードセット（マグネット式プラグ、電源コード有効長約 1.4m）、クエン酸（60g）、エアフィルター（本体装着）、アロマポット（本体装着）

※ 1、※ 2　室温 20℃、タンク満水、加湿モード「連続」の場合です。
- 運転停止状態の消費電力は約 0.9W です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

消耗部品（お買い上げの販売店でお買い求めください）

- お手入れをしてもよごれが落ちなくなったり、破れたりした場合は交換してください。
- 廃棄するときは、お住まいの地域のゴミ分別方法に従ってください。

	東芝加湿器用アロマポット
形 名	KAF-AP1（3個入）
材 質	ポリプロピレン

	エアフィルター（東芝テクノネットワーク㈱ 扱い部品）
部品コード	46442656
材 質	ポリエステル、ポリプロピレン

保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**

受付時間：365日　9:00～20:00

携帯電話・PHSなど　**022-774-5402（通話料：有料）**

FAX　**022-224-6801（通信料：有料）**

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の 20 ページに記載されております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ･販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。** ただし、エアフィルター、アロマポットは消耗部品ですので、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。
- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

- 加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- 17 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転スイッチを押して運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱･湿気･ホコリなどの影響によって部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか。

電源プラグやコンセントにたまっているホコリは取り除いてください。

- 水漏れする。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさかったりする。
- 異常な音や振動がする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検･修理をご相談ください。

持込修理

東芝加湿器保証書

形名	KA-N35X			
★お客様	お名前	ふりがな 様		
	ご住所	〒□□□-□□□□		
	電話	市外	市内	番号 呼
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日 年 月 日から	
★ご販売店	住所・店名 電話			

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームテクノ株式会社 家電事業統括部
〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田2570-1
電話（0256）53-2847

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   （ト）消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年 月 日		
年 月 日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田2570-1

THT-TTCA (TG)